

三菱一号館の復元

～蘇った明治期の煉瓦造オフィスビル～



復元された三菱一号館

日本を代表するオフィス街「丸の内」は、1894（明治27）年に竣工した「第1号館（現三菱一号館）」から始まりました。日本のオフィス街の原点ともいえるこの建物は、高度成長期に一度姿を消しましたが、2010（平成22）年、当該エリアの都市機能を再構築する開発事業の中で復元されました。

この復元プロジェクトに携わった講師が、基となるジョサイア・コンドルや曾禰達蔵（そねたつぞう）らによる設計図面や、4,000枚以上にも及ぶ写真資料等を精査する過程で見えてきた、当時の煉瓦造オフィスビルの考え方や建築技術、今日調達できる材料や技術によって再現することのむずかしさについて、当事者ならではの視点で語ります。さらに、都市再生の中で歴史的建造物を継承する意義についても考えます。

講師 野村 和宣（のむら かずのり）

株式会社 三菱地所設計 建築設計三部長。1964年東京都生まれ。1988年に東京工業大学大学院修士課程を修了し、三菱地所株式会社 設計部門に入社。2001年より株式会社三菱地所設計。主な建築作品に、日本工業倶楽部会館・三菱UFJ信託銀行本店ビル、三菱一号館、JPタワー保存棟（旧東京中央郵便局）、GINZA KABUKIZA（歌舞伎座・歌舞伎座タワー）

開催概要

- 日時：2016年9月14日（水）19:00～20:45（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。